ケミカルマテリアルJapan 向け

CMPによる化学物質情報伝達デジタル化

Chemical and circular **M**anagement **P**latform
製品含有化学物質・資源循環情報プラットフォーム

2026年11月

CMPコンソーシアム

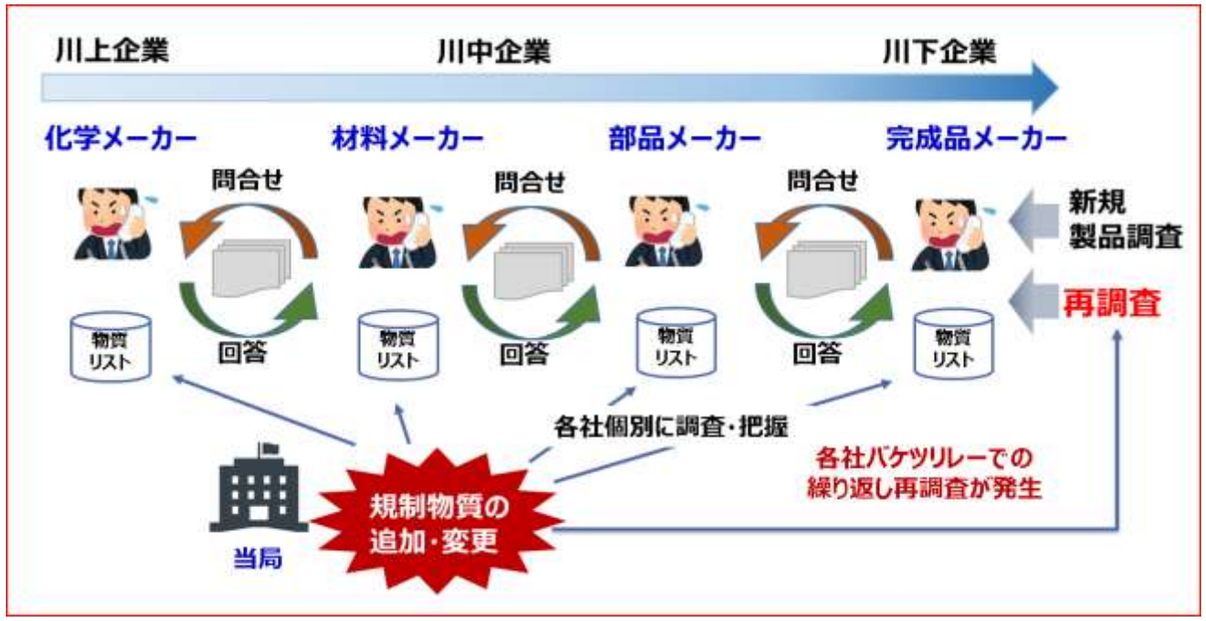
©2026 Copyright. All Rights Reserved. CMP Consortium

CMPのコンセプト

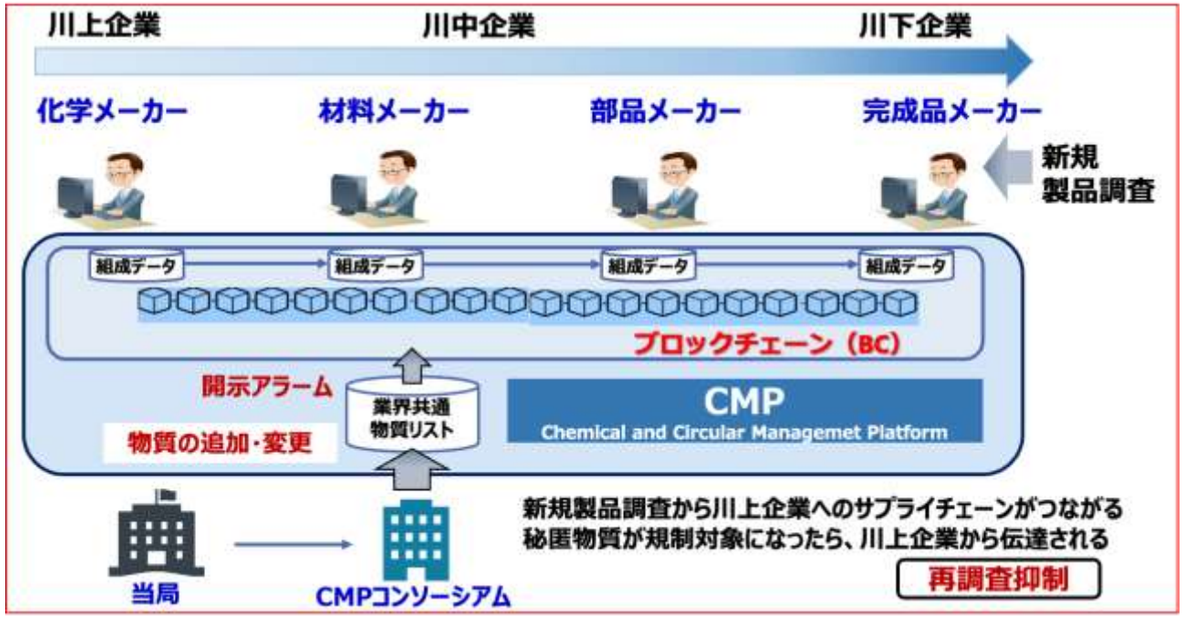
【得られる効果】

- ✓ 川上から川下へのシームレスな情報伝達
  - ✓ バケツリレー型情報伝達から、CMPコンソーシアムによるサプライチェーン全体への一括トリガーへの変革
- ✓ 規制変更時に必要となる再調査の抑制
- ✓ 資源循環など新たな情報への展開

【現状の情報伝達】



【目指す情報伝達の姿】

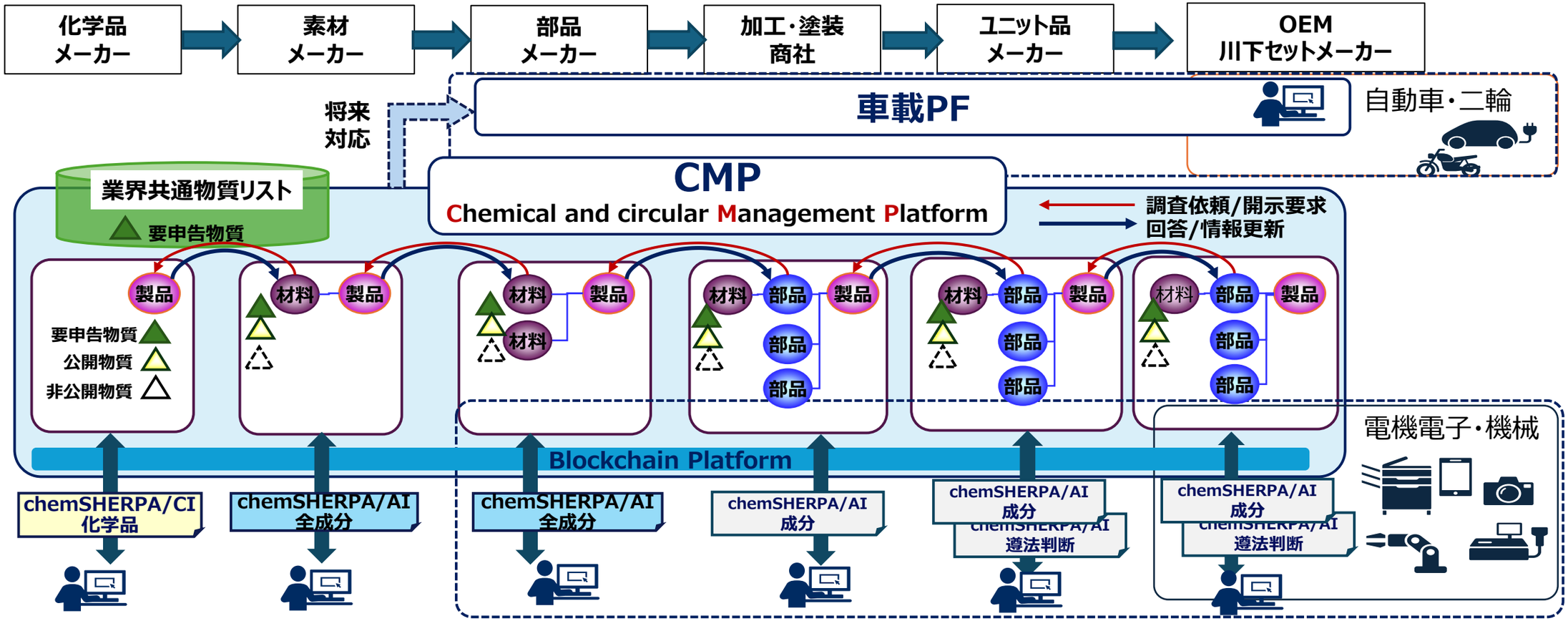


©2026 Copyright. All Rights Reserved. CMP Consortium

CMPの全体イメージ

- ✓ CMPはサプライチェーンにおける営業秘密情報（CBI）を担保しながら、再調査の手間を最小化する
- ✓ 一度サプライチェーンをつないでしまえば、法規制変更時に含有変更情報が<u>再調査なしに入手</u>できる
- ✓ 情報をつなぐために、chemSHERPAデータのインプット、アウトプット機能を実装

→少なくとも**約25%の工数削減効果**を実現（CMPタスクフォースアンケート※）※コンソーシアム設立前のCMPタスクフォースにおけるアンケート結果



©2026 Copyright. All Rights Reserved. CMP Consortium

CMPリリース（2026/10/1）

✓ **2026/10/1にCMPをリリースし、基盤ベンダー及び3社のアプリケーションベンダーの認証※を完了**

※2026年11月時点



2026 年 10 月 1 日

製品含有化学物質・資源循環情報プラットフォーム「CMP」のサービス提供を開始

～サプライチェーン全体で化学物質情報を安全に連携し、規制対応を効率化～

CMP コンソーシアム

CMP コンソーシアム[注1]は、化学物質情報のトレーサビリティ管理を支える製品含有化学物質・資源循環情報プラットフォーム「Chemical and circular Management Platform」(CMP)(以下、本サービス)を 2026 年 10 月 1 日より提供を開始します。

本サービスは、原料から完成品までのサプライチェーン上の取引関係と製品含有化学物質情報をひもづけ、必要な情報を指定した相手に伝達できるサービスで、各事業者の負担を軽減し、化学物質規制への迅速な対応を支援します。

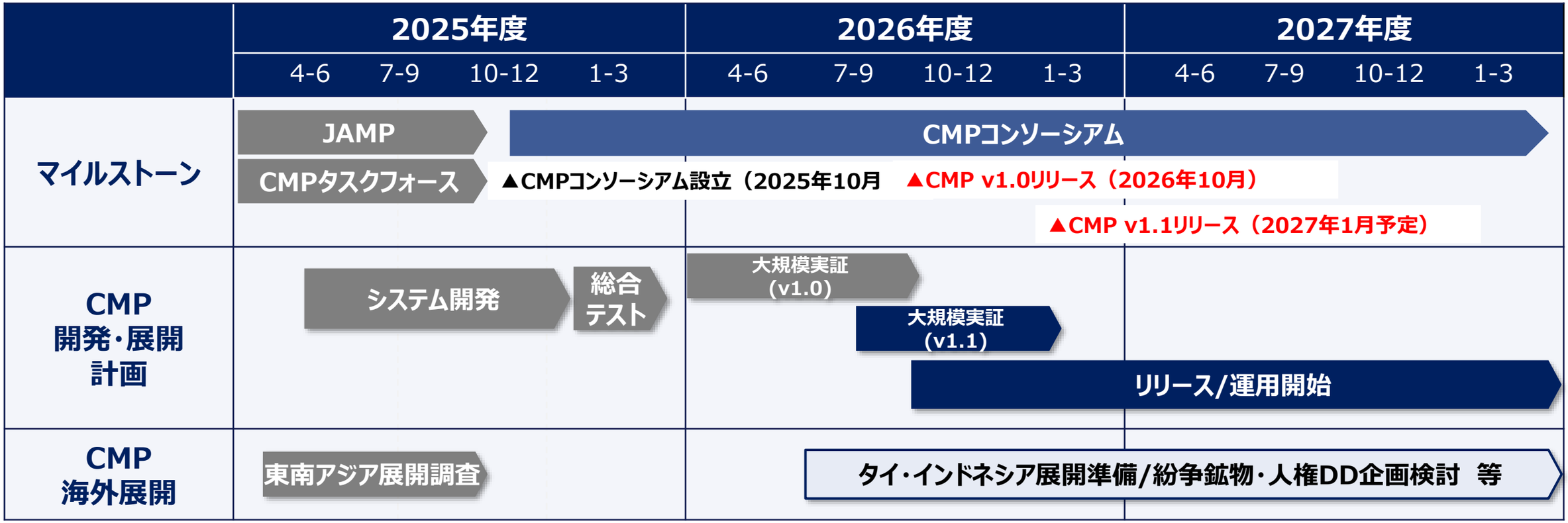
また、本サービスは、経済産業省および独立行政法人情報処理推進機構(IPA)デジタル&AI システムズ・デザインセンター(DADC)が推進するウラノス・エコシステム[注2]における Open Data Spaces (ODS)のアーキテクチャを参照しています。産業界におけるサプライチェーンの国際化を見据えて、IEC/ISO 82474 [注3]を参照しており、自動車産業および電機・電子産業を皮切りに、幅広い産業のサプライチェーンでの活用を想定しています。

今後、製品含有化学物質のみならず、資源循環情報をはじめとしたさまざまな企業間情報連携への発展をめざします。キヤノン株式会社やトヨタ自動車株式会社など約 580 社が参画する CMP コンソーシアムの会員を中心とした各業界の企業が CMP に賛同しています。

©2026 Copyright. All Rights Reserved. CMP Consortium

CMP全体スケジュール

2026年11月現在



- ✓ 全体スケジュール：大規模実証（v1.0：約500社）を完了し、<u>2026年10月に本番利用開始</u>
- ✓ 普及展開：中小企業巻き込みについて、<u>中小企業の利用料を無償化する仕組み</u>を実施中（NEDO事業）
- ✓ 海外展開：タイ・インドネシア展開準備に向けた調査等を2026年度から実施中

©2026 Copyright. All Rights Reserved. CMP Consortium

CMP Consortium

お問合せ先：　cmp-office@jemai.or.jp

©2025 Copyright. All Rights Reserved. CMP Consortium